

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和2年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立老人福祉センター-溪松園、相模原市立老人福祉センター-若竹園
指定管理者名	公益財団法人 相模原市まち・みどり公社
指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
施設設置条例	相模原市立老人福祉センター条例
施設の設置目的	老人に関する各種の相談に応ずるとともに、老人に対して健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を供与する施設(相模原市立老人福祉センター条例第2条)
施設概要	<p>【老人福祉センター-溪松園】 所在地:相模原市緑区大島3339 規模:鉄筋コンクリート造平屋建 建築延面積:2055.32㎡ 備考:老人福祉センターA型 昭和47年9月1日開館</p> <p>【老人福祉センター-若竹園】 所在地:相模原市南区若松2-1-38 規模:鉄筋コンクリート造2階建 延床面積:1239㎡ 備考:老人福祉センターA型 昭和57年4月1日開館</p>
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目(単位)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
溪松園	利用者数合計(人)	54,960	55,258	53,279	49,995	43,448	0	
	開所日数(日)	347	348	347	345	317	0	
若竹園	利用者数合計(人)	52,221	50,111	49,730	48,603	40,621	0	
	開所日数(日)	347	348	347	345	317	0	

※令和2年度は施設を休所

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
評価対象外	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度を休所としていたことから、評価対象としない。

指標 1	
指標名（単位）	一日平均利用者数（人）
指標式と指標の説明	年間利用者数÷開所日数 利用者の増加を図るため、当指標を設定 ※平成27年度、28年度の若竹園の指標は、年間登録団体数（実績）÷年間登録団体数（目標）

項目（単位）		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
溪 松 園	目標値（人）	147	148	160	160	161	161	162
	実績値（人）	158.0	159.0	153.5	144.9	137.1	-	
	達成度（%）	107.5%	107.4%	95.9%	90.6%	85.2%	-	
若 竹 園	目標値（人）			150	150	151	151	152
	実績値（人）			143.3	140.1	128.1	-	
	達成度（%）			95.5%	93.4%	84.8%	-	

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
評価対象外	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度を休所としていたことから、評価対象としない。

市が指定する事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための施設休所に伴い、未実施。			

企画提案事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための施設休所に伴い、未実施。			

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための施設休所に伴い、未実施。			

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
評価対象外	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度を休所としていたことから、評価対象としない。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	※令和2年度は休園のため未実施
目標値の基準	総合的な満足度の設問に対する「満足」と「概ね満足」の回答割合

項目 (単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
溪 松 園	目標値 (%)	90%	90%	90%	90%	90%	90%
	実績値 (%)	97.6%	94.4%	96.5%	96.8%	96.2%	-
	達成度 (%)	108%	104.9%	107.2%	107.6%	106.9%	-
若 竹 園	目標値 (%)	90%	90%	90%	90%	90%	90%
	実績値 (%)	98.1%	97.8%	97.2%	99.2%	99.0%	-
	達成度 (%)	109.0%	108.7%	108.0%	110.2%	110.0%	-

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ご意見箱	通年	施設受付にご意見箱を設置し、利用者からの意見要望等を随時受け付けた。受け付けた内容は、掲示板にて回答し、対応した。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	本体事業収支、全体収支ともに黒字であり、団体本体の経営状況についても特段の問題がないため、「S」評価とする。

施設の収支概要	※直近3年間について記載	(千円)	
項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入 (a)	100,886	105,951	114,390
指定管理料	100,886	100,886	100,886
利用料金収入	0	0	0
その他の収入	0	5,065	13,504
支出 (b)	99,145	95,443	81,074
人件費	32,566	32,458	25,785
本社管理経費	2,090	492	6,155
その他の支出	64,489	62,493	49,134
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	1,741	10,508	33,316
自主事業収入 (d)	61	74	0
自主事業支出 (e)	688	667	0
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	-627	-594	0
全体収支 【(c)+(f)】	1,114	9,914	33,316
備考	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の指定管理料返還分1,737千円を含んでいない。 その他の収入の増額要素は、コロナ対策補助金1,044千円、国からの助成金8,712千円が交付されたもの。 自主事業支出の減額は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全事業を中止したため。 令和2年度分の指定管理料返還分については現在算定中。 		
団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。		

7 管理業務の履行状況

検査方法	指定管理者へのヒアリング等により検査を実施
実施時期	令和2年9月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 指定管理者の自己評価

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、年間を通して休園となった。休園中は必要最低限の職員を配置し、人件費及び職員の時間外手当の削減に取り組んだ。また、清掃業務などの委託業務の見直しを行い、経費削減にも努めた。今後、お客さまの高齢化により、年々来園者が減少している中で、開園後も当分の間、新型コロナウイルス感染症防止対策として、様々な制限等が必要となり、利用者増は見込めない状況であると考えられる。当面は、施設内の感染拡大防止対策を万全に行い、安心して利用いただけるよう、安全対策を整えた施設運営に努めていきたい。

9 所管課意見

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度の全期間を休所したことから、成果指標の達成度や事業の実施状況等の実績について、本年度のモニタリングでは評価の対象外とした。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を行う等、利用再開に向けた準備をしてきたことは高く評価できる。また、既存の契約の見直し等を行い、施設の管理運営費の削減を行ったことについても高く評価できる。
- ・施設勤務職員の異動等に伴い、通常業務の経験がある職員が少なくなってきたことが課題として挙げられるが、運営ノウハウを継承し、施設再開時に支障なく運営できる体制維持に引き続き努めていただきたい。

10 選考委員会意見

- ・施設内の設備は、長期間の施設休所により停止していた設備もあると思う。両施設共に施設の老朽化が進んでいるため、施設再開時に設備が正常に稼働しないなどの影響も考えられるので、利用者に影響が出ないよう施設の管理運営に努めていただきたい。また、施設修繕についても、緊急性・安全性の観点から、優先順位付けを行った上で対応していくとともに、必要に応じて予算措置を講じていただきたい。
- ・施設が長期間に渡って休所したため、利用者の「施設離れ」が懸念される。施設の再開に向けては、利用者の期待に応えられるよう、魅力的な自主事業の実施や接遇の向上等、ソフト面の充実に努めていただきたい。
- ・施設の利用者は高齢者であり、新型コロナウイルス感染症による重症化リスクが高いことから、安心して利用していただけるよう、今後とも十分な感染対策を行っていただきたい。
- ・施設の利用促進を図るため、地域において高齢者の生きがい支援を展開する自治会、地区社会福祉協議会、民生委員等の地縁組織に、積極的なPRをしていただきたい。

総合評価（自動判定）

評価対象外